

第6回 政務活動費の後払いに関する検討プロジェクト会議 概要

日時：平成29年12月4日（月）15時15分～15時30分

場所：議事堂2階 201委員会室

出席者：政務活動費の後払いに関する検討プロジェクト会議委員（9名）

資料：政務活動費の後払いに関する検討プロジェクト会議事項書
検討結果報告素案について

<議事録 概要版>

委員：ただいまから、第6回「政務活動費の後払いに関する検討プロジェクト会議」を開催する。

本日は、前回までの議論を踏まえ、正副座長でこのプロジェクト会議の検討結果報告の素案を作成し、手元に配付した。この素案について、委員の皆様の意見をいただき、検討結果報告を取りまとめてまいりますので、よろしくお願ひしたい。

それでは、まず、素案について、私から概要を説明する。

まず、1ページをご覧ください。

はじめにとして、今回のプロジェクト会議を設置して、政務活動費の事後精算（後払い）を検討することとなった経緯について記述をしている。

次に、○政務活動費の事後精算（後払い）に関する検討と題して、プロジェクト会議で検討してきた経過について、時系列の順に、記述している。

まず、1として他県等の導入事例について、第1回の会議で調査をした、既に事後精算（後払い）を実施している、5県議会と四日市市議会の概要を箇条書きにして記述している。

次に、2ページをご覧ください。

2として、他県等の導入事例を踏まえた意見として、第2回と第3回で議論をいただいた。導入済みの議会の事例を参考とした、各会派からの御意見や委員間討議での概要を記述している。

次に、3ページをご覧ください。

3として、事後精算（後払い）の導入に向けた具体的な検討として、第4回と第5回で議論をいただいた、事後精算（後払い）の導入にあたってのメリット・デメリットについての意見とともに、具体的な案として提案いただいた「新政みえ」案の概要と、それに対する各会派で検討いただいた賛否の内容を4ページにまたがって記述している。

次に、5ページをご覧ください。

検討結果として、このプロジェクト会議での検討経過をまとめるとともに、最後の締めくくりをさせていただいた。内容としては、本プロジェクト会議で政務活動費の事後精算（後払い）方式導入の検討に当たって、はじめに他県等の導入事例の調査を行い、それらの事例を踏まえた事後精算（後払い）方式導入の必要性などについて委員間討議を行った。その後、事後精算（後払い）方式の導入に向けた具体的な検討に入り、事後精算（後払い）方式のメリット・デメリットの検討を行った。最後に、具体的な事後精算（後払い）案として、新政みえ会派から提案があり、その検討を行うことで結論を導き出すこととしたが、賛成・反対双方の意見に隔たりがあり、意見をまとめることが困難であった。そのため、賛成・反対の両方の意見を併記することで、本プロジェクト会議の検討結果とするという形でまとめさせていただいた。これが内容である。

次に資料として、7ページと8ページに他県等の導入事例、9ページに「新政みえ」からの具体的な事後精算（後払い）案を掲載し、11ページ以降には、関係法令のほか、プロジェクト会議の開催の経過、設置の目的等、そしてこの会議の名簿を参考資料として添付している。説明は以上である。

この検討結果報告（素案）について、委員の皆様方からの意見等があれば、お願いしたい。いかがか。

委員：内容は、事実をよくまとめていただいてありがとうございました。大筋これでよいと思うが、1点だけ少し気になったのが、1ページの初めにの、2段落中、「なお、会議の中で「前払い」「後払い」という表現について議論があり、現在、事前に3ヶ月分ずつが交付され、その後の精算を前提としている」という、この「精算」という言葉が後に出てくる「事後精算」とかぶって分かりにくいのではないかと私は感じたので、例えばこの「精算」という言葉を「返還」とか、別の言葉に置き換えたほうが誤解は生じにくいのかなというふうに感じた。こだわるものではないが、感想だけ。

委員：「精算」という表現が、後の「事後精算」にかぶるという意見だが、正副座長でいろいろ検討してこのような表現にさせていただいた。他の委員の皆さん方が、それはという話であれば、あれだが。ここで「精算」という表現をさせていただいて、「事後精算」という形に結びつけようかという意図でもあったが、それがまずいということのようであるが、どうか。

委員：委員の意見はもつともかなと思うが、「返還」というと使われる方もいるし、残される方もいて、残される方の場合は「返還」だが、使い切られる方もいるので。そういうことも考えて「精算」のほうがよいかないというふうに考えさせていただいた。

委員：もし、それで皆さんの誤解が生じないということなら問題はないが、残余についてとか、精算ということで、0円精算というのも当然あるわけだし、もう既に三重県議会は事後精算なのかというようなふうにも読めなくはないわけである。その後に精算を前提としているという。なので、少しその辺の言葉だけ、問題がなければ、他の皆さんの意見で。この会議の中でも一度この言葉で混乱したことがあったと記憶しているので。なければ結構だ。

委員：どういたしましょう。

委員：このところの「その後の精算」の「その後の精算」とは何を指すかだが、1年間終わって、年度が閉まって、精査した後の年に1回、一番最後の精算を指しているわけなのか。そうだとすると、もう少しそこを分かりやすくした方がよいかと、「そのことを言う」というふうに、何か一言、二言単語があったほうがよいかもしいないと思う。

委員：要は、3ヶ月分ずつ事前に渡されて、それを精算して、余った場合だと返還するし、あるいは足りない方は不足というような形での報告になる。そういうのをひっくるめて精算というふうに私どもは理解したのだが。

委員：先程言われたように、当初プロジェクト会議で議論する始まりに、「前払い」、「後払い」という一般的な言い方を「事後精算」ということに表現にしたかどうかという始まりから、それは3ヶ月分交付されてその後精算をされているから、「精算」という言葉を使ってということであったわけだから、「精算」と「事後精算」と合っていて然るべきだと、重なっていて然るべきだということと私は思う。だから、この説明があって、「事後精算」という表現を使うことにしたのだから、ここが「精算を前提として」という言葉の「精算があって」というふうになっていて然るべきだと思う。解説をしているからだと思うのだが。

委員：前の、「なお、会議の中で」ということがあるので、私はこのままでよいかないというふうに。会議の中で「前払い」「後払い」という表現について議論があり、というのが前にあるので、私はそのことについて議論しているというこ

とで、そのままでもいいかなというふうに思う。

委員：よろしいか。他にあるか。

(「意見なし」の声あり)

委員：それでは、なければ、これを素案という形で進めさせていただく。もう一度私ども正副座長で確認をして、てにをはについて何かあれば修正については私どもに任せていただきたい、一任をいただきたいということでよいか。

(「意義なし」の声あり)

委員：それではそのようにしたい。検討結果報告については、今後どのように取り扱っていくかという話であるが、議会改革推進会議の役員会を開いていただき、私どもの責任で報告をさせていただく。そして、その後、議会改革推進会議の総会で報告をさせていただいて、最後に12月20日に代表者会議があるので、ここで報告をさせていただくというふうに進めさせていただくので、了承願いたいと思う。日程については、この後の委員協議で話をさせていただきたいということである。協議いただく事項は以上であるが、他に何かあるか。

(「意見なし」の声あり)

委員：なければ最後に、私から一言発言させていただく。今回、政務活動費の事後精算(後払い)の検討に当たって、委員の皆さんには大変忙しい中、何度も会議に出ていただき、同時に会派での意見を取りまとめていただいた。本当に集中して熱心に議論をいただいた。このことに対して私から心から熱くお礼を申し上げたいと思う。事後精算(後払い)に向けて具体的な提案をいただいたが、残念ながらこのプロジェクト会議としての結論をまとめることができなかった。今回の議論の過程では、他県で導入している先行事例の勉強や導入に当たっての課題等を真摯な検討の中で議論をいただいた。事後精算(後払い)の取り組みについては、ある意味新たな認識をいただくことができたのかなというふうに思っている。しかしながら、政務活動費の根拠となる地方自治法には「政務活動費については、その使途の透明性の確保に努めるものとする」という記述もある。この辺のところ、委員の皆さん方においては、今後の会派内、あるいはいろいろな場所での議論で法律の趣旨も踏まえていただき、今後の取り組みや活動に活かしていただくようお願いを申し上げて、座長としてのお礼の挨拶

拶に代えさせていただきます。次に一言どうぞ。

委員：先ほどの言葉に尽きるが、私からも一言。今回は、大変忙しい中、プロジェクト会議で大変議論をいただきありがとうございました。こういう結果になったとはいえ、こういう議論を交わしたことによってこれから前に進んでいければと思うので、今後ともどうかよろしく願いいたします。本当にありがとうございました。

委員：それでは、今後特に協議いただく事項が出てこない限り、本日で「政務活動費の後払いに関する検討プロジェクト会議」を閉じさせていただきたいと思う。皆さんありがとうございました。お疲れ様でございました。